

自ら関連する資料等のデータを活用して、

学習したことを基に課題解決を図る学習

第4学年

特色ある地いきと人々の暮らし

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 課題解決に必要な既習内容の資料等を自ら選択し、内容を関連付けて考察できました。
- 仲間の提示する資料と発言内容を聞き分けて、自分の考えを広げて説明することができました。
- 伝統を守る人々の営みに込められた願いを実感することができました。

協働学習支援ツールを用いて、単元における学びの蓄積

授業の中で取り上げた資料と自分の読み取りを
1枚ずつのスライドでつなげ、前時までの学習を
振り返りながら課題追究を進める。

- ・手すき和紙職人の生き方に関わる年表など、スライド内の資料に書き込みを加える。
- ・毎時間活用した資料を振り返って、本時の学習に共通することを見つける。



教師の指導のポイント

- 個人で追究した学びを深められるように、一人一人が仲間と対話できる場を位置付け、追究に用いた資料をICT端末で共有し、仲間の説明からさらに気付いたことを加えられるようにする。

児童の学習状況を把握し、個別の学びを生かせるように全体交流の組織化



協働学習支援ツールで一人一人の学び
の状況を把握し、個に応じて声かけを行
うとともに、話し合いの構想を練る。

- ・「いい所に注目しているね。」「〇歳の時にはどんなことをしているかな？」などと、教師用のICT端末で一覧表示された画面を見ながら、個の学びに寄り添うとともに、問いを生む。

教師の指導のポイント

- 読み取った事実と考察したことを分けて、根拠と理由を基にタブレット上で指し示したり、書き込んだりしながら説明できるようにする。

手すき和紙づくりに取り組む人物の話について、自らのペースで動画を視聴



手すき和紙づくりに取り組む職人の言葉に注目して、その願い
に触れられるように、ヘッドセットを用いて動画を視聴する。

- ・人物の話に関する動画を視聴する前に、「どうしてこの年齢から始めたのかな？」と問いを生むことによって、時期に着目して見方・考え方を働かせられるようにする。

教師の指導のポイント

- 気付いたことやその事実に関する内容は、ICT 端末上に書き込み、考察したことは学習ノートに記述したり、それをカメラ機能で撮影したりして、児童の言語能力に応じて思考するための方法を工夫する。